

# Rails受託会社を作 っている話

竹内雄一

*Takeyu Web Inc.*

# はじめに

---

- 話すこと
- 話さないこと

# 話すこと

---

- フリーランスと法人成りの話
- お金の話

# 話さないこと

---

- Railsのこと

# とはいえ少し触れると

---

- Rails 1.1から触ってる
- 変わり続けている
- これからも変わっていくだろう

# なのでこれからも

---

Railsをキメよう

# 目次

---

- 自己紹介
- フリーランス？
- フリーランスという生き方
- 法人成りという選択

# @takeyuweb

---

- 2008年～フリーランス
- 2016年 法人成り
- Rails 1.1～



# フリーランス？

---

## “自由”業

- 自分で仕事をもらって自分で進めて自分で納品する
- 客先常駐だと個人事業主ではあっても自由業とは呼べないのでは  
(※)

※個人の感想です

# フリーランスのここがいい

---

自分の裁量で働きかたを決められる

# 場所の自由

---

- 通勤したくない
- 春は外出したくない
- 地方在住でも東京の仕事(高い)

# 時間の自由

---

- 休日混雑するところは平日行ける
- 仕事が手に着かない日は諦めて寝る

# フリーランス最高や！

---

QoLの高まりを感じる！

# フリーランスという生き方

---

フリーランスとして生きていく中で知ったこと、感じたこと

# 希望報酬を聞かれたら

---

## 金額交渉について

- 自分をいくらで売るか？
- 相対的な価値がわからないから値付けしようがない
- 難しい

# 自分をいくらで売るか？

---

- 自分がいくら欲しいかで決めてしま  
って良い
- 最適化は必要になってから
  - 安過ぎたら…次の契約で交渉
  - 高過ぎたら…お互いの落としどころを探る



「技術者の値段が技術以外  
(交渉力)で決まるのは…」

---

甘え。

# 仕事をもらうには

---

僕も答えは持っていないが…

自由だからこそ、仕事はキッチリと。

当たり前前のことを当たり前前やる。

イイ仕事できるから自由が許されると  
も言えるのでは

# 当たり前のことを当たり前にやる

---

当日になって「間に合わない」は論外

- 納期は目標ではなく最終期限
- メールはすぐに返す
- 問題はすぐ伝える

状況が見えないと不安になる

# フリーランスと税金

---

- 最初来たときびっくりする(した)
- 毎月積み立てておく
- 収入の3割ぐらいは税金のつもりで

# フリーランスと税金(1)

---

- 所得税

- 2年目から予定納税で分割して納める

- 住民税

- 普通徴収になる
  - 自分で納めると高い！と感じる

# フリーランスと税金(2)

---

- 個人事業税
  - あるラインを超えると発生…びっくりする
- 国民健康保険税
  - 扶養がない
  - 自治体によっては本当クソ高い
- 国民年金保険料

# フリーランスと消費税

---

もらってよい

- 1000万未満は免税
- 納めるの免除というだけ
- 消費税の納税額 = 受取消費税 - 支払消費税
  - 支払あるから受取もあるでしょ

# フリーランスと経費（１）

---

よく言われる

「フリーランスだと技術書とかPCとか  
経費にできてよい」

本当？



# フリーランスと経費(2)

---

経費といえども自分の金には違いない

**所得控除** というだけ

# フリーランスと経費と所得控除

---

所得控除とは？

課税所得を押し下げる効果がある

# 課税所得が減るって？

---

いろんな税金が安くなる

# PCを買う

---

- 会社員
  - 所得控除にならない
- フリーランス
  - 所得控除になる

# PCが所得控除になる

---

お得じゃん！

…と 思うでしょう？

# どうということ？

---

会社員は

何もしなくても

**給与所得控除** がある

# 給与所得控除？

---

働く上での必要経費。スーツ代とか、通勤費とか。

年収600万なら180万近い額 になる

# 給与所得控除まじばねえ

---

フリーランスの開発者が同じだけの控除を受けるのは **難しい**



# それってどういうこと？

---

フリーランスは

所得税や住民税が給与所得者に比べて重いってこと。

つらい

# フリーランスと老後の備えと税金

---

会社によっては退職金がある

# 退職金

---

- 普通の給与や事業所得に比べて、  
**所得控除がすごい**

フリーランスに退職金はない

# 小規模企業共済

---

フリーランスの退職金といえばこれ  
これで積み立てておくと **全額が所得  
控除になる** のでありがたい(上限額  
あり)

ただし廃業するなど条件を満たさないと引き出せない

# 個人型確定拠出年金 (iDeCo: イデコ)

---

- 全額が所得控除
- 月の拠出上限が会社員より高く設定されてる！
- 金融商品なのでリスクがある

# 自分であれこれ調べて貯める しかない！

---

小規模企業共済 + iDeCoで  
最大月138,000円  
を節税しつつ自力で積み立てる

# フリーランスと健康保険・年金

---

会社員	フリーランス
社会保険	国民健康保険
厚生年金	国民年金
半額負担	<b>全額負担</b>

保障の内容も違うので金額だけでは比較できないが…

# 気になる？保障の内容は

---

- 社保 ＞ 国保
  - 傷病手当などの有無
- 厚生年金 ＞ 国民年金
  - 障害補償や遺族補償の額

失ってわかるありがたみ



# フリーランスと休業補償

---

病気等で働けないとき

会社員	フリーランス
休業補償あり	0

会社員は、平均賃金の60%以上を会社から貰える

# フリーランスと健康診断

---

会社員	フリーランス
定期健康診断あり	なし
会社負担(※)	自腹。 <b>所得控除にもならない。</b>

※会社が払う義務は無いが、まともな会社なら負担する

# フリーランスと破産

---

仕事で大きな失敗をして相手方に損害を与えたとき

会社	フリーランス
有限責任	無限責任
会社の資本金の範囲内での弁済	個人の負債

# フリーランスと社会的信用

---

ローンを組みづらい。

稼ぎを増やして札束で殴るしか無い

# フリーランスと限界

---

- 物理的に手が足りない
- 自分以外の専門家が必要な仕事は無理

解消するには**仲間を増やす**しかない  
が、ぼっちには厳しい…

# フリーランスのここがっらいま とめ(1)

---

- 税制面で不利
- 公的保険が薄く割高
- 働けないと詰む

# フリーランスのここがっらいま とめ(2)

---

- 無限責任
- 社会的信用の不足
- 限界値低い

つらい。

---

つらい。



# それでも！

---

一度はまるとやめられない！

それがフリーランスという生き方！

# そこで法人成りという選択

---

フリーランスの上位互換

としての法人を目指す

# 税制面で不利…なら

---

- 役員所得
  - 給与所得控除が受けられる
- 退職金
  - 保険等を活用して積み立て

# 公的保険が薄く割高…なら

---

- 社会保険、厚生年金
- 半額が会社負担
- 健康診断が経費

# 働けないと詰む…なら

---

- 休業補償
- 役員報酬

※仲間がいる場合に限る

# 無限責任…なら

---

- 法人は有限責任

※代表者が連帯保証人になる借金はしないことが大事

# 社会的信用と理解の不足… なら

---

会社役員ってだけでなんだかすごそう  
(小並感

# 限界値低い…なら

---

- 考えに共感してくれる仲間を増やす
- 体力をつけて外部のパートナーをあつめる



# だいじなこと

---

フリーランスのつらいところを補完できても、

**良いところが失われたら意味がない**  
フリーランスの上位互換を目指そう

# フリーランスの上位互換を目指す

---

- 一人会社の場合
- 仲間を増やす場合

# 一人会社の場合

---

- フリーランスの延長
- 面倒な手続きは増える
- 税理士などの顧問料
- 節税効果だけではダメ

# 仲間を増やす場合

---

- 面倒な手続きすごく増える
- 社労士などの顧問料
- 人にまつわる費用と労力
- 一人会社とは別のスキル

# 仲間を増やすことにした

---

- 一人では手いっぱい
- 一人でできないことをしたい
- フリーランスの上位互換ではありつづけたい

# フリーランスの上位互換でありつづけるために

---

## 自由さを死守

- 場所の自由
- 時間の自由

# 場所の自由のために

---

完全リモートの会社にする

- 物理的なオフィスは持たない
- **すべての制度をリモート前提で考える**

# 物理的なオフィスを持たない

---

- オフィスにいる人といない人の差をなくす
- あくまでもリモート



# すべての制度をリモート前提で考える

---

- リモートでできることしかやらない
- **リモートが不向きなものは工夫**
  - なるべくせずに済ますには？
  - やり方を試行錯誤

# 作業環境づくりを支援する

---

自宅の作業環境構築にお金を出す  
ルールを作る

手当だと所得が増えてしまうので別の方法で

# 印鑑文化つらい問題

---

国の制度がリモート勤務をまったく  
考慮していないつらみ

- いろいろな手続きで役員や社員の  
印鑑が必要
- やむをえず郵送で対応している

# 時間の自由のために

---

- 専門業務型裁量労働制
- フレックスタイム制

# 専門業務型裁量労働制

---

やり方は任せる！成果が上がれば時間は不問！という制度

- 労働時間と方法を労働者に任せる
- みなし時間で給与を支払う

# フレックスタイム制

---

- 週や月あたりの労働時間を決定
- 割り振りを労働者にゆだねる

# 専門業務型裁量労働制とフレックスタイム制の違い

---

全然違う

# 勤務日や出退勤時間の自由

---

裁量労働	フレックスタイム
なし	あり

- 裁量労働は早退が認められる。
- フレックスはいつ働いても(働かなくても)良い



# 適用可能な業務の制限

---

専門業務型裁量労働	フレックスタイム
あり	なし

- 『設計』は認められる
- 『プログラミング』は認められない

# 極端に自由に寄せたフレックスタイム制を採用

---

働く日も時間も選べるようにしたい！  
ので、専門業務型裁量労働ではダメ

# 休日（１）

---

- 労働契約上、休日が必要。
- 例『土日祝祭日、年末年始、盆』

# 休日（１）

---

- 『各人の定める日』
- コアタイムなし

# フリーランスほどには自由に できなかったものもある

---

- 深夜業務は無理
- 月の労働時間は固定

# 深夜業務は無理

---

いつでも働ける！は無理だった

- 5:00～21:59の範囲内
- 22:00～翌4:59は割増賃金発生

自分で時間を選んで割増分を受け取るのは筋が通らないでしょ？

# 月の労働時間は固定

---

『正社員』の所定労働時間は固定

- Aさんは160時間
- Bさんは100時間

はNG

# なるべく月の労働時間に自由度を持たせたい

---

- 『多様な正社員』
- 正社員の所定労働時間を減らす



# 『多様な正社員』

---

『多様な正社員』（『短時間正社員』）  
なら、個別の雇用契約で決められる

正社員	短時間正社員A	短時間正社員B
160	120	100

# 正社員の所定労働時間を減らす

---

- 月160時間(週5日相当)→128時間(週4日相当)に変更
- 160時間までは残業扱いで働ける
- 副業自由

# 有給について

---

- 月160時間でも月128時間でも法定有給は同じ
- 月128時間めっちゃお得やん…

# 雇ってみてわかった社員とフリーランスの違い

---

- 雇われる側のリスク
- 雇う側のリスク

# タケユー・ウェブ株式会社をやってみて

---

- 経験値効率高い
- やりようはある
- 今後も推進していく気持ち

# まとめ

---

- フリーランス最高…だがつらいところもある
- 法人成りで解決できる問題もある
- 仲間募集してます